

議案第9号

令和元年度 山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第1回）について

地方自治法第218条第1項の規定により山陽小野田市工業用水道事業会計予算を別冊のとおり補正する。

令和2年2月19日 提出

山口県山陽小野田市長 藤田剛二

令和元年度

山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第1回)

令和元年度 山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第1回)

「平成31年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算」は、当年度全体を通じて「令和元年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算」とする。

(総則)

第1条 令和元年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第1回)は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 令和元年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算(以下「予算」という。)第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
収 入			
第1款 工業用水道事業収益	295,243 千円	△6,373 千円	288,870 千円
第1項 営業収益	289,512 千円	△6,501 千円	283,011 千円
第2項 営業外収益	5,731 千円	128 千円	5,859 千円
支 出			
第1款 工業用水道事業費用	240,773 千円	△18,347 千円	222,426 千円
第1項 営業費用	223,927 千円	△20,212 千円	203,715 千円
第2項 営業外費用	13,846 千円	1,865 千円	15,711 千円
第3項 予備費	3,000 千円	0 千円	3,000 千円

(資本的収入及び支出)

第3条 予算第4条本文括弧書を「資本的収入額と資本的支出額(前年度建設改良繰越額27,533千円を含む)の差額は13,516千円であるが、収入の長期貸付金償還金66,000千円は平成19年度決算において措置した額の一部が償還されたものであるため、これを控除した差額52,484千円が補てんすべき額となる。この対応として当年度分消費税資本的収支調整額2,112千円、過年度損益留保資金23,055千円、当年度損益留保資金4,366千円及び減債積立金22,951千円で補てんするものとする。」に改め、次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
収 入			
第1款 資本的収入	66,000 千円	0 千円	66,000 千円
第1項 長期貸付金償還金	66,000 千円	0 千円	66,000 千円
支 出			
第1款 資本的支出	25,951 千円	△1,000 千円	24,951 千円
第1項 建設改良費	3,000 千円	△1,000 千円	2,000 千円
第2項 償還金	22,951 千円	0 千円	22,951 千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第 4条 予算第6条に定めた金額を、次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(1) 職員給与費	57,779 千円	300 千円	58,079 千円

令和2年2月19日 提出

山口県山陽小野田市長 藤田剛二

予算に関する説明書

予算に関する説明書 注記表
当年度補正予算(第1回) 実施計画
当年度予定キャッシュ・フロー計算書
給与費明細書
当年度予定損益計算書 (参考資料)
当年度予定貸借対照表
収益的収支明細書 (参考資料)
資本的収支明細書 (参考資料)

予算に関する説明書 注記表

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して会計処理を行い、財務諸表等を作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 定額法によっている。ただし、量水器は取替法による。

イ 主な資産の耐用年数

種類	法定耐用年数	代表例
建物	8～50年	コンクリート造浄水場管理棟…50年
構築物	10～60年	水道管…40年
機械及び装置	6～20年	各種ポンプ設備…15年、量水器…8年
車両運搬具	4～6年	軽自動車…4年
工具、器具及び備品	4～15年	パソコン…4年

(2) 有価証券の評価基準

移動平均法による原価法によっている。

(3) 各引当金の計上方法

ア 退職給付引当金の所要額は簡便法で算出している。なお、各会計間の退職給付費の負担割合は以下のとおり。

水道事業会計 と 工業用水道事業会計	期末職員数按分
水道及び工業用水道事業会計 と その他の会計	双方に在職実績がある場合、該当職員の退職時点の各在籍年数按分

イ 賞与引当金は、当年度末における支給見込額(法定福利費を含む)を算出し、年度区分に従って費用処理する。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は期中税抜方式によっている。

2 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

予定キャッシュ・フロー計算書は間接法により作成している。重要な非資金取引はない。

前年度から繰り越した、建設改良費の精算額を含めて作成している。

3 予定貸借対照表に関する注記

前年度から繰り越した、建設改良費の精算額を含めて作成している。

4 リース資産に関する注記

リース資産に計上しなければならない契約はない。

ただし、所有権移転外ファイナンス・リース契約は、中小規模の公営企業の特例により、通常賃貸借取引に準じた会計処理とする。(現在 該当契約なし)

令和元年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第1回）実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	工業用水道事業収益		295,243	△ 6,373	288,870	
	1	営業収益	289,512	△ 6,501	283,011	
		1 給水収益	289,392	△ 6,501	282,891	
		2 その他営業収益	120		120	(一般会計)児童手当負担金
	2	営業外収益	5,731	128	5,859	
		1 受取利息	1,793	250	2,043	
		2 長期前受金戻入	3,650	△ 51	3,599	
		3 雑収益	288	△ 71	217	

支 出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	工業用水道事業費用		240,773	△ 18,347	222,426	
	1	営業費用	223,927	△ 20,212	203,715	
		1 原水及び配水費	151,394	△ 16,118	135,276	引当金繰入 (賞与 2,314)
		2 総係費	36,978	△ 13	36,965	(賞与 2,226 退職給付 5,980)
		3 減価償却費	27,655	△ 787	26,868	
		4 資産減耗費	7,900	△ 3,294	4,606	
	2	営業外費用	13,846	1,865	15,711	
		1 支払利息	3,187		3,187	
		2 消費税	10,659	1,865	12,524	
	3	予備費	3,000		3,000	
		1 予備費	3,000		3,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出
収 入

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	資本的收入		66,000		66,000	
	1	長期貸付金償還金	66,000		66,000	
		1 他会計貸付金償還金	66,000		66,000	(病院会計)

支 出

(税込額 単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1	資本の支出		25,951	△ 1,000	24,951	
	1	建設改良費	3,000	△ 1,000	2,000	
		1 営業設備費	3,000	△ 1,000	2,000	
	2	償還金	22,951		22,951	
		1 償還金	22,951		22,951	企業債償還元金

令和元年度山陽小野田市工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	65,332
	減価償却費	26,868
	長期前受金戻入額	△ 3,599
	受取利息及び受取配当金	△ 2,043
	支払利息	3,187
	有形固定資産除却損	500
	引当金の増加額	△ 12,770
	小計	77,475
	利息及び配当金の受取額	2,043
	利息の支払額	△ 3,187
	業務活動によるキャッシュ・フロー	76,331
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 27,421
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,421
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	企業債の償還による支出	△ 22,951
	一般会計又は他の特別会計からの償還金	66,000
	財務活動によるキャッシュ・フロー	43,049
	資金増加額(又は減少額)	91,959
	資金期首残高	623,997
	資金期末残高	715,956

給 与 費 明 細 書

1 総括

区分	職員数		給与費					法定 福利費 (千円)	合計 (千円)
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	手当 (千円)	賃金 (千円)	計 (千円)		
補正後	損益勘定 支弁職員	7		27,029	21,975		49,004	9,075	58,079
	資本勘定 支弁職員								
	合計	7		27,029	21,975		49,004	9,075	58,079
補正前	損益勘定 支弁職員	7		26,845	21,638		48,483	9,296	57,779
	資本勘定 支弁職員								
	合計	7		26,845	21,638		48,483	9,296	57,779
比較	損益勘定 支弁職員			184	337		521	△221	300
	資本勘定 支弁職員								
	合計			184	337		521	△221	300

区分	扶養	住居	通勤	管理職	夜間勤務	時間外 勤務	管理職 特別勤務	児童
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
補正後	834	606	573	908	925	252	4	120
補正前	714	878	515	849	1,173	308	4	120
比較	120	△272	58	59	△248	△56		

区分	外勤	集金	危険	電気技術 主任	交替制 勤務	緊急呼出	期末勤勉	退職 給付費
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
補正後	16		22		288	18	11,429	5,980
補正前			10		423	6	11,079	5,559
比較	16		12		△135	12	350	421

2 給料及び手当の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説明	備考
給料	184	給与改定に伴う増減分	18	給与改定率 0.07%
		その他の増減分	166	異動等による増減分
手当	337	制度改正に伴う増減分	147	期末勤勉手当
		その他の増減分	190	異動等による増減分

3 給料及び手当の状況

(1) 初任給

区分	補正後		補正前	
	企業職 (円)	一般会計の制度	企業職 (円)	一般会計の制度
		一般行政職 (円)		一般行政職 (円)
高校卒	154,900	154,900	153,000	153,000
大学卒	188,700	188,700	187,200	187,200

(2) 特殊勤務手当

区分	補正後	補正前
	事務・技術	事務・技術
給料総額に対する比率 (%)	1.3	1.6
支給対象職員の比率 (%)	57.1	57.1
支給対象職員の1人当たり平均支給月額 (円)	7,167	9,146
代表的な特殊勤務手当の名称	交替制勤務手当、危険手当、緊急呼出手当等	

(3) 期末手当・勤勉手当

区分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の級等による加算措置	備考
	6月(月分)	12月(月分)			
補正後	本年度	2.225	2.275	4.50	有
	前年度	2.125	2.325	4.45	有
	一般会計の制度	2.225	2.275	4.50	有
補正前	本年度	2.225	2.225	4.45	有
	前年度	2.125	2.275	4.40	有
	一般会計の制度	2.225	2.225	4.45	有

令和元年度 山陽小野田市工業用水道事業予定損益計算書

(平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで)

(単位:千円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	259,478		
	(2) その他営業収益	<u>120</u>	259,598	
2	営業費用			
	(1) 原水及び配水費	126,342		
	(2) 総係費	36,468		
	(3) 減価償却費	26,868		
	(4) 資産減耗費	<u>4,241</u>	<u>193,919</u>	
	営業利益			65,679
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	2,043		
	(2) 長期前受金戻入	3,599		
	(3) 雑収益	<u>198</u>	5,840	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	<u>3,187</u>	<u>3,187</u>	<u>2,653</u>
	経常利益			68,332
5	予備費			
	(1) 予備費	<u>3,000</u>	<u>3,000</u>	<u>△ 3,000</u>
	当年度純利益			65,332
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>22,951</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>88,283</u></u>

令和元年度 山陽小野田市工業用水道事業予定貸借対照表

(令和2年3月31日)

(単位:千円)

	資	産	の	
				部
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地			66,007	
イ 建物	82,175			
減価償却累計額	<u>△47,510</u>		34,665	
ウ 構築物	1,249,800			
減価償却累計額	<u>△597,699</u>		652,101	
エ 機械及び装置	392,545			
減価償却累計額	<u>△349,530</u>		43,015	
オ 車輛運搬具	2,777			
減価償却累計額	<u>△1,483</u>		1,294	
カ 工具・器具及び備品	2,357			
減価償却累計額	<u>△1,269</u>		1,088	
有形固定資産合計				798,170
(2) 無形固定資産				
ア 電話加入権			<u>22</u>	
無形固定資産合計				22
(3) 投資その他資産				
ア 長期貸付金			<u>132,000</u>	
投資その他資産合計				<u>132,000</u>
固定資産合計				930,192
2 流動資産				
(1) 現金・預金			715,956	
(2) 未収金			注① 24,858	
(3) 前払費用			<u>11</u>	
流動資産合計				<u>740,825</u>
資産合計				<u><u>1,671,017</u></u>

注① 未収金には、3月調定分水道料金の全額 24,736千円を含む。

注② 上水道会計への職員の異動(2名)に伴い、退職給付引当金から17,338千円を繰り出した。

注③ 上水道会計への職員の異動(2名)に伴い、賞与引当金から1,517千円を繰り出した。

当年度6月期末勤勉手当(法定福利費を含む)を支給するため、賞与引当金4,435千円を取り崩した。

注④ 当年度未処分利益剰余金には、現金の裏付けのない利益3,548千円を含む。

(補てん財源使用済積立金取崩額の一部)

負 債 の 部

3	固定負債				
	(1) 企業債			116,582	
	(2) 引当金				
	ア 退職給付引当金	注②	66,665		
	イ 修繕引当金		<u>113,488</u>		
	引当金合計			<u>180,153</u>	
	固定負債合計				296,735
4	流動負債				
	(1) 企業債			23,454	
	(2) 未払金			28,668	
	(3) 賞与引当金	注③	4,540		
	(4) その他流動負債			<u>350</u>	
	流動負債合計				57,012
5	繰延収益				
	(1) 長期前受金			316,548	
	(2) 収益化累計額			<u>△218,627</u>	
	繰延収益合計				<u>97,921</u>
	負債合計				451,668

資 本 の 部

6	資本金				466,215
7	剰余金				
	(1) 資本剰余金				
	ア 受贈財産評価額		1,985		
	イ 工事負担金		72,133		
	ウ その他資本剰余金		<u>16,354</u>		
	資本剰余金合計				90,472
	(2) 利益剰余金				
	ア 利益積立金		18,000		
	イ 減債積立金		131,826		
	ウ 建設改良積立金		397,553		
	エ 水源涵養林整備積立金		27,000		
	オ 当年度未処分利益剰余金	注④	<u>88,283</u>		
	利益剰余金合計			<u>662,662</u>	
	剰余金合計				<u>753,134</u>
	資本合計				<u>1,219,349</u>
	負債資本合計				<u>1,671,017</u>

収 益 的 収 支 明 細 書

収 入

(税込額 単位:千円)

款	項	目 節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
工業用水道事業収益			295,243	△ 6,373	288,870	
営業収益			289,512	△ 6,501	283,011	
給水収益			289,392	△ 6,501	282,891	
水道料金			289,392	△ 6,501	282,891	前年度節水による減
営業外収益			5,731	128	5,859	
受取利息			1,793	250	2,043	
預金利息			1,001	250	1,251	
長期前受金戻入			3,650	△ 51	3,599	
長期前受金戻入			3,650	△ 51	3,599	
雑収益			288	△ 71	217	
その他雑収益			288	△ 71	217	

支 出

(税込額 単位:千円)

款	項	目 節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
工業用水道事業費用			240,773	△ 18,347	222,426	
営業費用			223,927	△ 20,212	203,715	
原水及び配水費			151,394	△ 16,118	135,276	
給料			14,089	166	14,255	
手当			6,641	△ 282	6,359	
賞与引当金繰入額			2,254	60	2,314	次年度6月期末勤勉手当 支給原資(12~3月発生分)
法定福利費			4,546	△ 167	4,379	
修繕費			2,671	△ 243	2,428	
動力費			47,620	△ 2,117	45,503	電力使用量の減
負担金			11,022	△ 6,291	4,731	厚東川ダム負担金
受水費			59,012	△ 7,244	51,768	県営厚東川工業用水道料

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
			総係費	36,978	△ 13	36,965	
			給料	12,756	18	12,774	次年度6月期末勤勉手当 支給原資(12~3月発生分)
			手当	5,725	111	5,836	
			賞与引当金繰入額	2,177	49	2,226	
			法定福利費	4,032	△ 76	3,956	
			退職給付費	5,559	421	5,980	
			負担金	730	△ 204	526	
			用地管理費	781	△ 332	449	
			減価償却費	27,655	△ 787	26,868	
			有形固定資産減価償却費	27,655	△ 787	26,868	
			資産減耗費	7,900	△ 3,294	4,606	
			固定資産除却費	7,900	△ 3,294	4,606	田辺線送水管撤去
			営業外費用	13,846	1,865	15,711	
			消費税	10,659	1,865	12,524	
			消費税	10,659	1,865	12,524	控除対象課税仕入の減

資 本 的 収 支 明 細 書

収 入

(税込額 単位:千円)

款 項 目 節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
資本的收入	66,000		66,000	

支 出

(税込額 単位:千円)

款 項 目 節	既決予定額	補正予定額	計	附記(主な増減理由)
資本の支出	25,951	△ 1,000	24,951	
建設改良費	3,000	△ 1,000	2,000	
営業設備費	3,000	△ 1,000	2,000	
固定資産購入費	3,000	△ 1,000	2,000	公用車 (入札減)